

花咲き山

令和2年度
飯豊町立飯豊中学校
第1学年だより
第29号
2020.10.16
文責：小松正義

提出物について考える①

2回目の定期テストが終了しました。テストも返され1学期の期末テストの結果と比べて一喜一憂しているお子さんの様子を見ているのではないのでしょうか。お家の方も同じかもしれません。さて、今回は提出物について一緒に考えてみたいと思います。

学習に関わる提出物は、毎日の自主学習ノート、教科からの宿題、授業で行った学習プリントなどなど多くあります。今の子ども達が行っている学習は、授業にしっかり参加しただけで完結できるほど甘いものではなくなっています。家庭での復習が欠かせないのが現状です。

今の1年生は、多くの教科の先生から「提出物を出せない生徒が多い。」と言われていました。「このままだと、2年後痛い思いをすることになる。」とも……。そうです、2年後は正に今の3年生の時期になっています。進路選択が迫られる時期に、「あの時～していれば」と言っても戻ることはできないという意味です。

提出物を出せない子どもにも、いろいろなタイプがあると思います。

- ① **しっかりやることはやっているが、たまたま忘れることがある。**
- ② **自力でやろうとしているが、理解が追いつかなくて終わらせることができないので出せない。**
- ③ **やろうと思えば出来るのに、時間がかかるからとか、分からないからという理由をつけてやらないので出せない。**
- ④ **提出しようとする気持がない。**

学校で心配しているのは、③④のパターンです。「本人がその気にならないと……。」と言うのは簡単ですが、気持ちを揺り動かすには、本人のみならず家庭、学校の力が必要です。学校でもいろいろな声かけをし、対策を講じていきますが、お家の方の協力も不可欠です。本人がその気になった時には手遅れとならないように、今から関わってください。

①のパターンは、一声かけて頂くだけで大丈夫だと思います。②のパターンは、やる気はあるわけですから、本人に合ったやり方を、家庭と学校で一緒に考えながら進める必要があると考えています。いつでもご相談ください。こちらからも相談させて頂くこともあると思います。よろしくお願ひします。

提出物については、今年次のように変わった生徒もいます。

1学期は、ほとんど提出物が出せませんでした。何度言っても未提出が増えていっただけでした。放課後の居残りが日常的で、ほとんど部活動に参加することも出来ませんでした。本人はそれでも、未提出を続けていました。

新人大会が迫った頃からでしょうか。部活動への意欲が変わってきました。休日の練習はいつも時間ギリギリだったのに、早く来て準備するようになりました。きっと、部活動の中に自分の目標が出来たのだと思います。この頃から提出物も出せるようになってきました。まだまだ完璧に出せる状況にはなっていませんが、明らかに本人の意思で変化したのです。

「出せ出せ！」と言うのではなく、本人が本気になれることを一緒に探してあげる、そういった関わりも提出物をしっかり出すことに繋がる手立てになるということです。自分のお子さんのことは、私たち以上に理解していると思いますので、いろいろな角度からアプローチを試してみてください。

逆に、1学期は出せていたのに、だんだん出せなくなっている生徒もいます。学校の様子はなかなか見えないと思いますが、お子さんの変化に敏感になってください。こちらからも遠慮なく連絡させて頂きますので、その時は一緒に考えさせてください。

お願いばかりで申し訳ありませんが、2年後に後悔しないようご協力願ひします。

今回は、提出物を出せないことについて考えましたが、次回は提出物を出している人の課題について考えたいと思います。

学年部会役員会より

14日(水)部会役員会を行いました。今後の部会行事を下記の通り行うこととしました。詳しい案内は今後配付します。ご理解、ご協力お願いいたします。

1. 期 日 11月29日(日) 9:00~11:30

2. 目 的 子ども達の学校での様子を直接見ることが今までなかったので、担任に授業をお願いして、授業の様子を拝見する。

SNS(LINEグループ)についての不安が役員の中からも出された。同じ学年の親として実態を出し合い、できることを話し合うことで親の結束を深める。

3. 内 容 授業参観(担任の授業)

学級懇談(グループワーク)

テーマ; SNSの使用の現状と親としてできること

